

基礎呼吸器学

科目到達目標 1) 呼吸器系の発生と構造を説明できる。 2) 呼吸器系の機能を説明できる。 3) 呼吸器系に働く薬物の作用機序を説明できる。
4) 肺循環について説明できる。

科目責任者(所属教室): 河合 康明(適応生理学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/11(月)	3	111	鼻腔・咽頭の構造	名黒 知徳	非常勤講師	鼻腔・咽頭・の構造を説明できる。	鼻前庭、嗅上皮、キーゼルバツハ部位、鼻甲介、副鼻腔、ワルダイエルの咽頭輪
2	4/11(月)	4	111	喉頭・気管・気管支の構造	中根 裕信	解剖学	喉頭・気管・気管支の構造の構造を説明できる。	声門、声帯、喉頭蓋、甲状軟骨、輪状軟骨、気管、細気管支、呼吸細気管支
3	4/18(月)	3	111	肺の構造	名黒 知徳	非常勤講師	肺葉、肺区域、肺門の構造を説明できる。	気管支肺動脈束、肺静脈、リンパ管、肺門リンパ節、一次小葉、二次小葉
4	4/18(月)	4	111	縦隔・胸膜・胸郭の構造	中根 裕信	解剖学	縦隔・胸膜・胸郭の構造を説明できる。	縦隔リンパ節、壁側胸膜、臓側胸膜、胸膜腔、骨性胸郭、横隔膜
5	4/19(火)	1	111	換気(1)	松尾 聡	適応生理学	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	呼吸筋、補助呼吸筋、横隔神経、肋間神経、胸膜腔内圧、死腔
6	4/25(月)	3	111	ガス交換	河合 康明	適応生理学	肺胞におけるガス交換の機序を説明できる。	肺胞膜、拡散、Fickの法則、肺胞気-動脈血較差、理想肺、右-左シャント
7	4/25(月)	4	111	肺循環	河合 康明	適応生理学	肺循環の特徴を説明できる。	肺動脈楔入圧、Waterfall現象、換気-血流比、肺水腫、起座呼吸、低酸素性肺血管収縮、肺高血圧
8	4/26(火)	1	111	換気(2)	松尾 聡	適応生理学	換気力学を概説できる。	肺コンプライアンス、表面活性物質、呼吸抵抗、肺気量と肺容量、スパイログラム
9	5/2(月)	3	111	ガス運搬	河合 康明	適応生理学	ガス運搬の仕組みを説明できる。	ヘモグロビン、酸素解離曲線、Bohr効果、Haldane効果、カルバミノ化合物、塩素イオン移動
10	5/2(月)	4	111	呼吸調節(1)	河合 康明	適応生理学	呼吸中枢による呼吸リズム形成を説明できる。	呼吸中枢、呼吸ニューロン、背側呼吸ニューロン群、腹側呼吸ニューロン群
11	5/6(金)	3	111	呼吸調節(2)	河合 康明	適応生理学	呼吸調節機序を説明できる。	ヘーリング・ブロイエル反射、化学受容器、頸動脈小体、大動脈小体、中枢化学受容野
12	5/6(金)	4	111	呼吸器作用薬(1)	富田 修平	分子薬理学	呼吸器薬(喘息治療薬)の薬理作用を説明できる。	気管支拡張薬、テオフィリン、 β 2刺激薬、c-AMP、ロイコトリエン拮抗薬、吸入ステロイド薬、抗コリン薬
13	5/10(火)	1	111	呼吸器作用薬(2)	富田 修平	分子薬理学	呼吸器薬(鎮咳薬)の薬理作用を説明できる。	中枢性鎮咳薬、末梢性鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬
14	5/27(金)	1	組織系	組織実習1	解剖学講座	解剖学	呼吸器系の構造を図示できる。	多列線毛上皮、杯細胞、刷子細胞、クララ細胞、気管軟骨、細気管支、肺胞、肺胞上皮細胞、塵埃細胞
15	5/27(金)	2	組織系	組織実習2	解剖学講座	解剖学	同上	同上

教育ブランドデザイン: 2,3,4 学位授与の方針: 1,2

評価: 筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験87%、組織実習13%とする。

その他: 組織実習は組織学実習室で行う。パソコン、LANケーブル、色鉛筆、スケッチ用ノートを持参のこと。

定期試験: 6月27日(月)1時限